

江戸ソバリエ倶楽部会員の皆様

2025 新年会開催のご案内

拝啓

師走の候 皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は江戸ソバリエ倶楽部の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当倶楽部では、令和7年1月25日（土）に新年会を開催いたします。ご多用中とは思いますが下記のとおり開催いたしますのでご出席をお待ち申し上げます。昨年と同じ日本橋 TOYO さんでの開催です。

敬具

記

【日時】 令和7年1月25日（土）午前11時30分 受付～ 12時～15時 開催

【会場】 日本橋「Brasserie TOYO」ブラッセリートウヨウ

<https://akr6730365314.owst.jp/>

東京都中央区日本橋 1-2-10 東洋ビル 2F

03-3271-0003

銀座線東西線日本橋駅 B9 出口より徒歩 30 秒

JR 線東京駅日本橋口から徒歩 8 分

日本橋駅から 123m コレド前



【講演会】 講師：書家 田坂州代 氏（たさかくによ氏）

題目：「書で美味しい」



江戸ソバリエ 8 期

<https://lit.link/kuniyotasaka>

実演・パフォーマンスもあります

書家 田坂州代（たさかくによ）

初個展を銀座鳩居堂画廊にて開催。観賞用作品は勿論、愛知万博の舞台用巨大作品をはじめ、「手塚治虫浮世絵」

「司馬遼太郎原作 燃えよ剣 明治座公演」など舞台や書籍の題字、企業ロゴ・商品ロゴも手掛け、書の魅力を伝え楽しんで頂こうと国内のみならず、パリ、上海、バリ、アゼルバイジャンなど海外でも活動。

【懇親会】 各期会員紹介など

【会費】 会員 7,000 円 非会員 8,000 円（当日お支払いください）

会員で未納会費がある場合は受付でお支払いください。

【申込方法】 1) 「google フォーム」から申し込み QR コード ⇒

2) 倶楽部事務局までメールで申し込み

令和7年1月15日（金）締め切り

令和7年1月20日以降キャンセルの場合は、キャンセル料2,000円必要です。

【問合せ先】 江戸ソバリエ倶楽部事務局 赤尾吉一 090-8177-6062

archi-cosmo@syd.odn.ne.jp

江戸ソバリエ倶楽部新年会担当 岩井正道 090-3092-2733

i-masa@mvc.biglobe.ne.jp

※google フォーム申込 URL は

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdlcwf-6_v6L4eud7OPKl5h1HSIH--HYgCcoy-K91q0GNHNI/viewform



現

書家
田坂州代

Kuniyo Tasaka



写真左より 木乃下真由・山下洋輔・渋谷和生・上妻宏光・坂田明・吉野弘志
愛知万博舞台用巨大書作品(実寸大) Photography: Mitushi Takeshita

言葉では伝えきれない
空気感まで描き出す書

企業・商品のブランドロゴ

書籍・映画・演劇の題字

経営者・著者・士業等の方々への

筆跡の「提案と実技指導

あなたのお仕事や、

あなたご自身を、

「書」を通して

「心」に伝え、

その価値を高める

お手伝いをさせていただきます。

WEB: www.kuniyotasaka.jp

MAIL: contact@kuniyotasaka.jp

現



お問合せ WEB 能



田坂が書くとき当たる

愛知万博の舞台用巨大書作品を7.2×1.8メートルの幕に原寸で毛筆書きしたのをはじめ、「手塚治虫浮世絵」「司馬遼太郎原作 燃えよ剣 明治座公演」など書籍、映画、舞台の題字や、企業・商品ロゴを担当。また、帯や着物、扇子、名刺、挨拶状など身近なものも。多くの人に書の魅力を伝え楽しんで頂こうと、国内のみならず海外でも活動中です。

伊東株式会社「夏めく」



作品の目的に応じて、迫力ある力強い表現から、しなやかで繊細な表現まで自在に操り、確かな技術に裏打ちされた「伝える力」でクライアントの信頼を獲得。「田坂が題字を書く」とその芝居は当たる」というジンクスまで生まれました。



伊東株式会社「夏めく」

オーダーメイド
筆跡ブランディング

「ご職業やお立場に適した「ふさわしい印象」の筆跡を手に入れるコンサルティング。単なるきれいな文字ではなく、「誠実さ」「頼りがい」「豊かな感性」など、あなたをアピールする筆跡とそのノウハウを指導致します。筆跡は後天的に身につけたもの。トレーニングすれば改善できます。ご自分の筆跡にお悩みの方、まずはご相談ください。



実演

書作品制作のほか、パフォーマーとしても活躍。二〇一〇年に地歌（伝統的な三味線音楽の一種）の演奏家とコラボ公演したほか、二〇一一年の演劇公演では、登場人物として劇中で書を揮毫しました。二〇二二年、パリ開催「ジヤパンエクスホ」では約三メートルの大書を実演し、二〇二四年には日本初の早朝フェスでも約十五メートルの大書実演。はか多数の実績があります。

ごあいさつ

書は「言葉」を視覚的に表現した芸術です。古代の絵文字から始まり、長い歴史のなかで、篆書、隸書、草書、行書、楷書と様々な書体が生まれました。私、出版もその歴史の末端とも最前線とも言える現代で、創造に挑む一人です。

伝達

「書家」と聞くと、多くの皆様が書道教室の先生を思い浮かべますが、私は「伝達」をテーマに、想いを伝える観賞用作品や、書籍、映画、舞台の題字、企業ロゴや商品ロゴ、社是などの作品を提供しております。

言視化

言視化とは、「言葉を見える化」すること。依頼主様が顧客に伝えたいメッセージを、「書」という形で、目から心へ訴える作品に仕上げています。

共創

書家に依頼するとき、「どう頼んだらよいかわからない」、「書家の書風を押しつけられるのでは」と不安を感じるなどの声をよく耳にします。私は依頼主様との「共創」を大切にしており、目的に応じた適切な書きぶりを提案する書家もいると、安心して「依頼頂いております。

略歴

日本大学芸術学部卒、同芸術研究所修了。高等学校書道科教員免許、高等学校・中学校国語科教員免許、伝統文化コーディネーター検定上級取得。日本演劇学会会員。二〇一七年、慶應義塾「福澤諭吉記念文明塾」講師。二〇一九年、慶應義塾OIC [Make Great Ideas] 講師。二〇一九年、首都大学東京（都立大）オープンユニバーシティ講師。

